

湯川 元一 1-187

Apr. 4/89

N11
YHAL N12 Supplement
N13

理論物理学談話会

1946年(昭和21年) 湯川研究室

1. 久世寛一: 二重結合の理論 (Hückel) (2月9日)
2. 田村松平: 物理の世界 (西田幾太郎) (2月16日)
3. 鳴海 元: 遷移状態の方法 (湯川, 上京) (2月23日)
4. 野間 進: Pair theory (3月9日)
5. 荒木源太郎: 原子価論における原子および分子軌道函数の方法 (3月16日)
6. 内山龍雄: 一般化された電気力学 (Podolsky) (3月23日)
7. 瀬川 洋: 固体Siの電子構造 (Mullaney) (3月30日)
8. 井上 健: Diracの場の新しい量子化の方法 (Pauli) (4月6日, 13日)
9. 山本常信: A survey of ferromagnetism (Van Vleck) (4月20日)
10. 小林 稔: 宇宙線の実験に関する最近の報告 (5月11日)
11. 小梶茂雄: Slaterの強磁性体論 (5月18日)
12. 小林 稔: 中間子論における λ -limiting process (Pauli) (6月1日, 15日)
13. 荒木源太郎: 円光子の量子力学 (6月8日)
14. 鈴木 坦: 輻射の機構 (Wheeler) (10月12日)
15. 江夏 弘: 宇宙線 (Heitler-Penng) (10月19日)

物理教室談話会 1946年5月23日(木) 3:00p. m.

- 湯川秀樹: 原子物理学における最近の進歩
荒勝文策: 広島における原子爆弾の調査結果